

御殿場市が取り組む東京2020大会ロードレース会場のレガシーを活用したまちづくり



<目標>

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標の具体的内容>

オリンピック・レガシーとして地域に**自転車文化を創造**、交流人口の増加により**新たな産業・雇用を誘致**

【具体目標】

※本計画は、まちづくり総合計画の目標1、4に対する取組として実施

- ① 国内外から多くのサイクリスト、自転車競技者が訪れ、交流する地域（人が集い活力あふれる産業を育てるまちづくり）
- ② 市民の多くが自転車に親しみ、サイクリストを理解し、温かくもてなす地域社会（富士山のように大きな心を持った人づくり）

<PRポイント>

【地域資源】富士山と東京2020大会ロードレースコースを活用した新たなコンテンツ（イベント、ツアー等）の創出。
 【自転車の多方面活用】市観光協会・市商工会・市スポーツ協会等が一体となり、**自転車競技の振興**、観光・健康づくりを始めとした**地域の振興**、次世代の**担い手の育成・確保**、新文化を支える**地域社会の形成**など、東京2020大会のレガシーとしてサイクルスポーツのまちづくりを**総合的に推進**。

<取り組みを進める組織体制>



【役割】

- ・市と市内団体が連携して、市のスポーツ課題を協議
- ・スポーツの効果を観光や商工業へ拡大・波及
- ・まちの賑わいの創出、地域経済の活性化等につなげる
- ・東京2020大会のレガシーを推進

【会長】市長

【副会長】市観光協会長、市商工会長、市スポーツ協会長

【委員】市内30団体（県立御殿場高等学校含む）

スポーツツーリズム

- スポーツを経済に繋げる
市のスポーツ資源を活用した誘客、スポーツ客の市内回遊・滞留促進

サイクルスポーツのまちづくり

- 市民の多くが自転車に親しむ文化を創造する
サイクリングイベントの活用、自転車競技を観る機会創出

スポーツ交流

- スポーツを教育・文化に繋げる
トップアスリートとの交流促進、スポーツをみる、支える文化の創造

空手のまちづくり

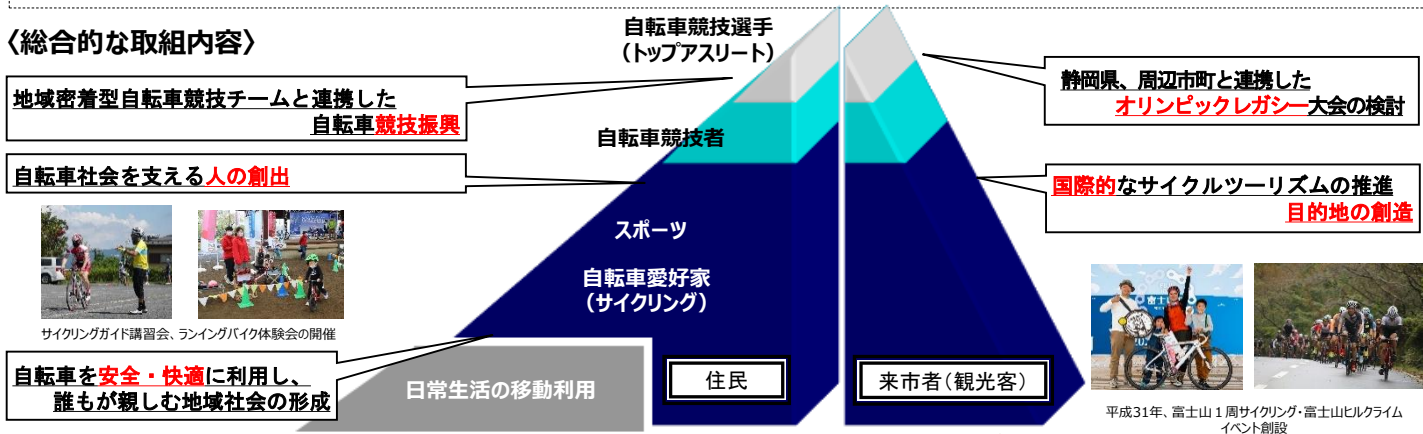
- 空手のまちづくりを推進する
御殿場西高等学校空手道部との交流、レガシー大会の創出、空手競技を観る機会創出、空手イタリア代表との交流

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- ・御殿場市は、滞留観光の未促進による地域経済の停滞、人口減少による慢性的な労働力の不足といったまちづくりの課題を抱えている。
- ・現在は、富士山の麓、東京2020大会ロードレース会場という環境から多くのサイクリストが訪れるが、地域に自転車の文化（する・観る・支える）が根付いていない。
- ・サイクリストを受入れる環境を整えるとともに、次世代を担う人材の育成・確保し、自転車に係る新たな産業の誘致と更なる観光の促進を図っていくことが重要。

<総合的な取組内容>



平成31年、富士山1周サイクリング・富士山ヒルクライムイベント創設



【フォローアップ欄】令和4年度以降における計画の進捗状況

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：産業スポーツ部スポーツ交流課
- 地方版総合戦略：第2期御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略・令和3年2月
- 地域スポーツコミッション：スポーツタウン御殿場推進連絡会（平成28年9月発足/令和2年11月スポーツコミッション登録）
- ホスタウンの相手先：イタリア・台湾・韓国



御殿場市公式HP



スポーツタウン御殿場HP